



カロリーアンサー通信

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック営業本部 東京営業所

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号

住友生命八重洲ビル5階 青森県東京ビジネスプラザ内

○TEL 03-5201-7005 ○FAX 03-3271-0701 ○ <http://www.j-world.co.jp/>

責任編集者：小田桐 英夫 携帯 090-2027-0396

Vol. 14

ごあいさつ

いきなりですが未曾有の大災害です、本当に国家的な管理危機状態だと思います。タベ思うにまかせ3時間くらいかけて原稿を書き上げましたがあまりにも過激すぎて校正に出したものを回収して書き直しています。被災地における破壊されつくした街並みやインフラ、避難されている被災者の惨憺たる現状はTVや新聞などで国民はもちろんですが世界中に映像が配信され多くの支援の輪が広がりつつあります。国民一人ひとりが我が身に生じた災害だと思うことで復旧に大いにプラスになることも多いと思います。私も役に立つかどうか分からないまま何年振りかで献血だけは済ました。エネルギーの無駄遣いにも思い自転車も買いました。関東一円では輪番制で停電はあるものの23区というか都内は現在のところ停電もありませんし社会生活はともかく、個人の生活については災害にあった地域に比べれば、ほとんど不自由はないのに何故に買占めや買いだめに走るのでしょうか。朝晩の食事に欠かせない納豆、その他ご存知のように米からパン、ラーメン、ティッシュやトイレトペーパーまでここ数日、巢鴨のスーパーでは見たことがありません。屋根のある家で暖かい銀シャリにありつけるだけで被災者の何万倍も幸せだと思うのですが。



一旦、飢餓感のようなものに煽られた群集心理はいくらTVや新聞で自粛を呼びかけても止められないものなのだと思います。素人ですが米などは古米や備蓄米など有り余るほどの在庫があると思います。放出する用意があるだなんてのん気な事を言ってないで棚一杯に溢れるほど並べれば早々に収まるだろうにと思います。単純に考えても岩手、宮城、福島という米どころの被害、原発絡みの風評も含めて一時的な減反政策の見直しなどなど。言いたかった事の殆どは3月16日の産経新聞「正論」佐々敦之氏、同3月17日「正論」拓大教授、森本敏氏、同日「産経抄」主張に掲載されております。Webでも見れます。今朝もTVで被災地のニュースを見ていましたが南相馬村の村長が悲痛な訴えをしておりました。半径5キロ10キロ20キロそして30キロと福島第一第二原発から行くあても定まらぬ中(帰れる保障もなく)津波の被災地でもある当地から避難しなければならない状況、一方で30キロ以内に配達されないガソリンその他の支援物資など。配達する方は危険回避という立場から踏み込めないでしょう、会社、あるいは運行管理者であれば当然ながらそういう指示を出します。では一体誰がそういう状況を助けられるのでしょうか。TVに出ていた先生は私が安全を保証しますと言ってましたが違うでしょう。東電、保安院、経産省、文科省と4社4様の微妙な見解のズレ。事故の丁寧な情報公開と処理対策に対し統一的な指揮権を発揮するべきは内閣官房長官かと。その元で各大臣、副大臣、政務官から経由して国、県、町村というふう指示や命令などが遅滞なく行われていかねばならないと強く思います。(普段から政治主導を意識したパフォーマンスも多いし)もともと復旧、復興に向けた極め細かやで力強いメッセージを被災者に届けていかなければならないとも。それと記者会見における質疑を聞いていて不満に思うこと。TVではあれだけ被災地における惨状や避難民の窮状を繰返し伝えているのに官房長官との質疑では何一つ明確な答えを引き出していない事。東電や保安院への突っ込みは厳しく、命がけでやっているのにそこまで言わずもがなと思う場面も多いです。東電の退避命令だって全員が退避するなんてありえないじゃないですか。みんな使命感を持って自身の仕事に誇りを持っています。人命軽視と言われても当事者であれば最悪の現場で最後の最後まで危機回避のために尽くします。「僕はものすごく原発に詳しい」とかTVや新聞に表現されないことを望みます。それとパリパリのきれいな作業服もとてもアンバランスに映ります。御用記者クラブでないのならもともと現場の手当てされていない惨状についての明確なメッセージを引き出すようにしてもらいたいと思います。

ニュースコーナー

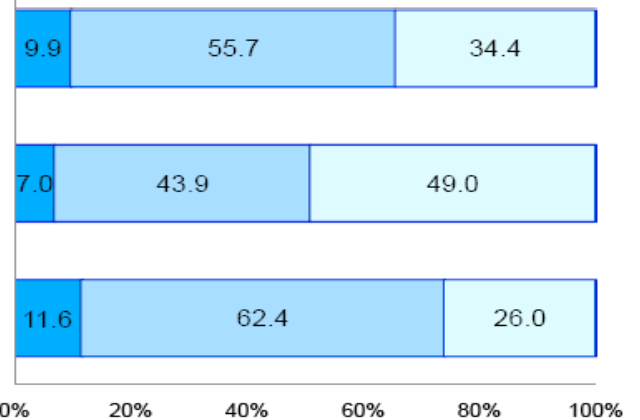
●「カロリーアンサー」お客様情報

本来の創刊趣旨と関係のない事ばかり述べましたが本分はしっかりやっていますので報告しますね。2月中旬に和歌山県の大型病院内にある給食担当部門と3月1日には大阪府内で多店舗展開しているスーパーマーケットへ納品しました。和歌山では午後4時からのセッティングでしたがドクター方のカンファレンスも重なったために短時間の間に設置、説明と汗だくになりました。早速、病院で用意した給食を実際に測定しました。理論値が460キロカロリー前後に対して実測値がほぼジャスピンに近かったので立会ったスタッフの皆さんも満足げでした。今後の細やかな栄養指導や検証に役立てていきたいというお話で、プロのための有用なツールとして認めていただければアンサー冥利に尽きます！その後の状況を確認したところ今週から本格的に使い始めましたという事でした。大阪では寝屋川市の本部に仮設置いたしました。こちらでは3月末に新しい惣菜工場が竣工になるという事で、その段階で移設になるという事でした。本格的に使用されるのは4月からになりそうです。惣菜担当のAバイヤーは数年前からCAに注目しており欲しくて欲しくてたまらなかったそうです。念願が叶いましたと問屋さんの前で仰ってくれて恐縮してしまいました。職務がら他社やデパ地下あたりの惣菜コーナーは気になりますしお客様に対して些細なことであってもしっかり食の情報を提供していかなくてはと豊富を述べられておりました。ところが些細なことではないのですよ！弊社の古い資料には新聞記事のコーナーがあったのですが消費者が食品を購入する際の4番目の動機が「栄養表示」なんです。この後の記事で紹介しますが消費者庁の栄養表示検討委員会においてもリサーチされております。今後の予定ですが大阪本社のお菓子メーカー、北海道のSM、横浜の惣菜メーカーなど最後の詰めです。



栄養成分	数値
エネルギー(kcal)	152
たんぱく質(g)	2.7
脂質(g)	1.4
糖質(g)	32
食物繊維(g)	1.1
ナトリウム(mg)	376
カルシウム(mg)	56
鉄(mg)	5.0
ビタミンB1(mg)	0.40
ビタミンB2(mg)	0.08
ナイアシン(mg)	4.8
パントテン酸(mg)	0.80
ビタミンB6(mg)	0.56
ビタミンB12(μg)	0.20
葉酸(μg)	72
ビタミンC(mg)	36

＜栄養成分表示を参考にする者の割合＞



トピックス

● 弘前のトピックス

私も地震の夜はロウソク、懐中電灯、で明かりを取っていましたがキャンプで使うランタンがある!!と思い出して明かりを確保しました。ガスと水道は止まらなかったのも、一人用土鍋でご飯を炊き冷凍品が溶けてしまうので、冷凍食材から調理して食べていました。でも寒くてガスコンロから離れる事が出来ずに食後すぐ布団に入りましたが、余震があつて眠れなかったです。

被災地のニュースが毎日の様に流れている中で物流がストップしていることが問題です。今回は市内のスーパーの状況取材して来ました。非常食になる日持ちする商品の棚は空っぽなのです。カップラーメン、乾麺、パスタ、缶詰、などは当然の様に棚が空っぽ(写真1)他には、お好み焼き粉などが全く無い、(写真2)は精肉コーナーですが商品が無いのでカーテンが下ろされたままです。お店の半分以上商品が無いと感じです。



デモンストレーション 申込用紙

本製品にご興味ございましたら電話、E-mail または FAX にてお申し込み下さい。折り返し、ご相談の日程調整について担当よりご連絡差し上げます。

①ご来場希望の日程をご記入下さい。

第一希望日時	
第二希望日時	
第三希望日時	

※御社訪問デモ御希望の場合は別途ご連絡の程宜しく御願いたします。

②連絡先

TEL: 03-5201-7005 (平日 AM9:00~PM5:00)

E-Mail: hideo@j-world.co.jp

FAX: 03-3271-0701 (24時間受付)

(この用紙に必要な事項をご記入の上、ファックスまたはメールにてお送りください)

企業/法人名	
ご担当者様	(ふりがな)
	(お名前)
ご連絡先	TEL
	E-mail
	FAX
ご連絡方法	TEL ・ E-mail ・ FAX (いずれかを○でご指定願います)

※ご記入いただきました情報は本製品販売以外の目的では使用しません。

株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック

本社：〒036-0162 青森県平川市館山前田 85-2

東京営業所：〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-2-1

住友生命八重洲ビル 5階青森県東京ビジネスプラザ内

担当：小田桐